

# 就労移行支援事業

R6年4月ホテルに就職したお二人のご紹介をします。お仕事の内容としては、バスタオルたたみやナフキンたたみ、タオルアート、おしぼりのチェック、レストランのセッティングなど様々な仕事に携わっています。ほう（報告）・れん（連絡）・そう（相談）を大切に、仕事が正確にできているかお互い確認し合いながら日々取り組んでいます。

## お二人のコメント

**Nさん**

3か月たち仕事のスピードも上がってきました。一緒にいった方々にも遅れないように自分なりに取り組んでいます。大変なこともあります相談もできる職場なので頑張っって続けていきたいと思ひます。

**Iさん**

いろいろ覚えることがたくさんありましたが、少しずつ慣れて行きました。この調子で頑張っっていきたくひです。

### おしぼりのチェック



ラップをして・・・



カゴに詰めていきます



### ナフキンたたみ



一枚ずつしわを伸ばしながら丁寧に折っていきます

それぞれ任せられた  
仕事に取り組みます



### タオルアート

イヌ、クマ、ウサギ作りに挑戦しています  
このタオルアートで子供たちが喜んでくれたらいいな～



こんなにたくさん  
作りました

# 就労継続支援 B 型事業

～月に1度の『あじさい会』の様子です！日々の訓練の合間にリフレッシュしている様子をご覧ください！～

## 【4月：お花見 in 緑地公園】

満開の桜の下、素敵な笑顔がたくさん撮れました！



## 【5月：軽スポーツ in 信田体育館】

近くの体育館へ行き、ボッチャ、カローリングをしました。体を動かしてリフレッシュできました！



カローリング



## 【6月：絵手紙教室】

家族や友人に日頃の感謝の気持ちを込めて書きました！



### 書道楽しみまかなコンクール



「創作賞」受賞！！

### ◆◆◆今後のバザー出店予定◆◆◆

- 7月24日（水）福祉のお店〈高山市役所〉
  - 8月10日（土）ふれあい児童館夏祭り〈ふれあい児童館〉
  - 8月17日（土）山ゆり夏祭り〈山ゆり学園〉
  - 9月28日（土）ののさまマルシェ〈真光寺 or 富士会館〉
- ～みなさん、ぜひお越しください！～



島根県の勤務が三年となり、次に異動命令がでたのが、東京の本部勤務でした。当時は東京と千葉の二か所に本部があり、私は東京の本部勤務となりました。東京の本部は総務部をはじめ主として事務職が多く働く現場でした。障害者職業カウンセラーとして働いてきた私は、はじめて事務職として働くこととなりました。

正直な気持ち「何で自分が？」という、まったく希望しない異動でした。部署は開発相談部情報普及課。障がい者リファレンスサービスなどを開発するところでした。係長として着任しましたが、外部からかかってくる電話一つ、まともに対応できない状態。聞いたことのない事務の専門用語、数千万の予算の執行、厚生労働省とのやり取りなど、これまでの職業経験など全く通用しない別世界の仕事でした。意気消沈した私の様子を見かねて、先輩が食事に誘ってくれたりしましたが、私から出てくるのは愚痴ばかり、最後はなぜか涙まで出てきました。

満員電車の過酷な通勤も重なり、私は体重が減り、当時の写真を見るとげっそり痩せて別人です。その時読んでいたのは「田舎暮らし」という雑誌。都会を離れて田舎暮らしをしている人を紹介しており、いつかは自分もと憧れを抱いていました。いつ仕事を辞めようかと考える日々がしばらく続きました。

【第11回 終わり】



私が障がいのある方の就労に携わるようになり三十数年が経過します。この間に障がい者雇用の状況は大きく変化したと感じます。ちょうど昭和から平成に時代が変わる頃、やっと知的障がいのある方の雇用がクローズアップされるようになり、障害者雇用促進法の改正が実施されました。しかし精神障がい者の雇用は未だ大きく取り上げられていませんでした。

その頃の就労支援のスタンスは、企業へのお願いでした。面接を希望しても断られることが度々でした。その後、企業は社会的責任、社会貢献という言葉で障がい者雇用に取り組むようになりました。そして現在はどうかといえば、障がい者と企業の雇用関係はウィンウィンだと言われます。

大企業の人事担当が特別支援学校高等部を訪問し、卒業後採用したい生徒をスカウトすると聞いています。今や障がい者雇用に社会的責任、社会貢献だと言っている企業は時代遅れだと言えます。そしてこうした時代だからこそ障がいのある方を企業の人材とすべく私たちの役割と責任は大きいと感じています。

(柏木)

# 青空通信

NPO 法人 ウェルコミュニティ飛騨 青空作業所  
高山市山口町 1297-1 0577-35-1559  
<https://www.welcom-aozora.com/>  
令和6年 7月 24日発行 第61号



理事長挨拶



井端 隆博

日頃よりウェルコミュニティ飛騨 青空作業所の活動に対し、ご支援を賜り深く感謝申し上げます。私、井端隆博は去る令和6年5月14日に開催された理事会にて承認を受け、7月1日より特定非営利活動法人ウェルコミュニティ飛騨の理事長に就任いたしました。

私がこの仕事を始めた時は、畑違いの分野からの転職ということもあり不安や迷いを感じ挫けそうになる毎日でしたが、素敵な利用者の方々、温かく見守ってくださるご家族の方々、高い志と熱い思いをもって仕事に取り組む職員や関連機関の方々、こういったたくさんの素晴らしい出会いに支えられ、今日を迎えることができましたことに心から感謝を申し上げます。10年以上に渡り障がい福祉、地域福祉の推進に取り組んでいます法人の理事長という重要な役割を任されることになり、身の引き締まる思いであります。法人理念「自分に誠実に 相手に思いやりを 一步ずつ前進を」、法人モットー「一人ひとりを人生の主役に」を忘れず、これまで積み上げてきた土台をしっかりと引継ぎ、更なる法人の発展および地域福祉の推進を図るため、職務にまい進していく所存であります。

当法人といたしましては、令和7年より開始される就労選択支援など、年々多様化する地域ニーズを的確に捉え、地域社会の期待に応えるべく、役職員一同力を合わせて精進して参ります。皆様方におかれましては、今まで以上のご指導とご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

